

坊っちゃん電力

2カ月半で個人宅予約件数500件に
企業契約容量年内3000キロワットをめざす

坊っちゃん電力(松山市山越五、木村賢太社長)は、来年四月の新電力提供開始に向け予約営業を開始している。二戸建て住宅向けの予約を約五百件契約、提供開始の四月までに二千件の契約をめざす。また法人向けは各企業ごとに現在契約中の電力会社と同社に変更した場合との料金を比較した説明を行って、年内で三千キロワットの契約容量をめざす。

同社は平成二十七年五月設立、電力の小売り事業者。日本卸電力取引所(JEPX)から電力を仕入れ、法人や二戸建て住宅などに販売を行なう。二十八年四月から開始する電力自由化に向け今年九月から法人、一戸建て住宅向けの契約営業を開始した。

これまでの契約状況を見ると、十一月十三日時点の予約件数が四百く五百件に達していて、「ペー」としては悪くない(管理部)



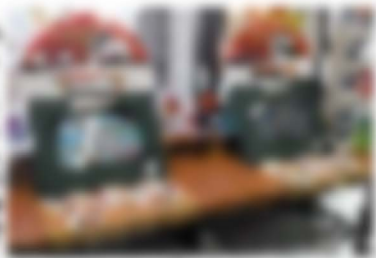
株式会社 坊っちゃん電力
botchan electric power company.

としている。一戸建て住宅向けの予約営業は個人宅に直接訪問し、電力の自由化で新電力会社と契約できることなどを説明。二十八年一月から正式契約が可能になり、四月までの契約件数二千件をめざす。さらに四月以降、最終的な契約戸数の目標は県内で二万件としている。

法人向け契約状況は、現時点では数社。現在契約中の基本料金や使用量の料金単価などと、「坊っちゃん電力」を使用した場合との試算シミュレーションを提示している段階。使用量は変化するため必ずしも節約になるものではないが、基本的な料金の差を比べることができ。年内の契約容量は三千キロワットをめざしている。今後の目標容量については年内の契約容量を見て順次判断していく予定。

同社は「皆さんの電気代を安くしていきたい(管理部)」としている。また「坊っちゃん電力の名

前の通り、地産地消を行なっていく(同)とし、「大手会社のようにサービスの組み合わせなどは難しい。金額で勝負していきたい(同)」としている。



前、地産地消を行なっていく(同)とし、「大手会社のようにサービスの組み合わせなどは難しい。金額で勝負していきたい(同)」としている。



前、地産地消を行なっていく(同)とし、「大手会社のようにサービスの組み合わせなどは難しい。金額で勝負していきたい(同)」としている。



前、地産地消を行なっていく(同)とし、「大手会社のようにサービスの組み合わせなどは難しい。金額で勝負していきたい(同)」としている。